

# あさひ燦々

新春

理念 地域の人々と勤労者の方々に信頼される医療を提供します

○基本方針 ① 患者さんの権利を尊重して、患者さん中心の医療を実践します。 ② 多職種と幅広く連携し、地域医療の充実に努めます。 ③ 地域の中核病院として急性期医療・救急医療の充実に努めます。 ④ 慈愛の心に満ちた医療人を育成します。 ⑤ 一般医療を基盤とした勤労者医療を積極的に実践します。 ⑥ 働き甲斐のある職場づくりをし、健全な病院運営を行います。

## コロナ禍が教えてくれた病診連携の重要さ



旭ろうさい病院

院長 宇佐美 郁治

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年末よりコロナの第8波が襲来しています。今後何度どのぐらいの大きさの波が来るのでしょうか。早く日常を取り戻したいものです。医療を取り巻く環境を大きく変えたコロナ禍ももう3年が経とうとしています。当院は令和元年5月に新病院で診療を開始し旧病院の取り壊し中のグランドオープン前にコロナ禍に見舞われました。二次救急指定の病院として、また、新たに承認された地域医療支援病院としてコロナ禍における地域の役割を考える日々でした。コロナの始まりのころはコロナに対応できる病院になるために毎日会議を重ね、各部署の役割分担、患者・職員の動線の見直しなどをしました。コロナに対応する病床は2床で始めましたが感染状況を見ながら増床

し最終的には18床まで増やしました。その後はコロナとの共存を考え一般診療の機能を落とさないようにし、最近ではコロナ後を見据えて一般診療の中でコロナに対応する体制を考えているところです。

地域の連携の中で重要な指標であります紹介件数、逆紹介件数、救急搬送件数はコロナ禍で大幅に減少しましたが、今年度はコロナ禍前まで回復してきており、コロナ後を見据えた診療体制を考える時期になってきたと感じています。

コロナ禍の中でかかりつけ医を持っていない患者さんが多いことを経験しました。ワクチン接種時や感染蔓延時の病院への受診控えがあった時にワクチン接種をしていただくことや処方をお願いすることなど、かかりつけ医の先生に相談してくださいとお話をしましたが「ろうさい病院がかかりつけ医で近くの診療所は受診したことがない」

と言う患者さんが数多くいたことに驚きました。病院への受診控えをした結果、慢性疾患の管理が悪くなる方、がん検診や精密検査を受けなかったために進行がんの状態で見つかる方も多く経験しました。この中には気楽に受診できるかかりつけ医の先生を持っていたら病気が悪化する状況が予防できたこともあったと思っています。これらのことを踏まえ、地域全体で患者さんを診ていくのが基本であることを再認識し、昨年より「かかりつけ医を持ちましょう」という啓蒙を院内でしており今年も続けていきます。永年通った病院から変わりたくない、複数の医療機関に通うのは面倒だという患者さんの声をいただきますが、コロナ禍を経

験し、気楽になんでも相談できるかかりつけ医を持つことが健康管理のために重要であることを繰り返し患者さんに説明し理解を求めていきたいと思っています。コロナ禍で人と人とのつながりが希薄になった時に病診連携の重要性や地域の医療機関との役割分担を再認識させられました。

当院は急性期の病院として入院機能の充実、紹介外来・救急外来・専門外来の充実を図り地域の医療を支援できるように病院の機能を高めてまいりますので今年もよろしくお願いいたします。

## 特 集



# 日本人女性の9人に1人が乳がんになる時代 ～女性技師が対応する乳がん検診受けてみませんか？～



早期発見・早期治療には  
乳がん検診が必要

旭ろうさい病院  
中央検査部長 岩月 恵子

**働く女性・子育てママ世代の方へ**  
乳がんは働きざかり・子育て世代の比較的若い世代もかかるがんです。どんなに忙しくでもあなただけでなくあなたの家族のためにも乳がん検診を受けましょう。

当院では 2022 年 4 月から乳腺専門外

来を設置いたしました。これに伴い、乳房検査にも力をいれてまいります。質の高い医療をお届けするため、マンモグラフィ検査および乳腺超音波検査は**女性技師が対応**、精度的にも安心して受けていただけるように日本乳がん検診精度管理中央機構で認定と日本超音波医学会で認定を受けた技師が対応

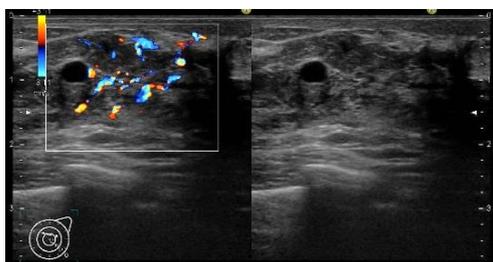
いたします。

私自身、乳腺検査をはじめて数十年になります。マンモグラフィは痛いから検診は受けたくないと言われる方が多くみられます。確かにマンモグラフィは乳房をお煎餅のように圧迫して撮影しますので痛みは伴います。特に生理前や胸の張りがある時期に撮影するととても痛かったのではないのでしょうか。

**何故、自治体の乳がん健診では第1選択はマンモグラフィ検査なのでしょうか？**乳腺超音波は検査を行う人の技量により、検査内容が左右されやすい、乳がん初期症状である石灰化の発見が苦手などの理由があげられます。ただし、マンモグラフィを苦手とする、高濃度乳腺の方などの場合は、乳腺超音波検査をすすめられることもあります。

**では高濃度乳腺とはどんな乳腺なのでしょう？**乳腺組織がよく発達した状態ですが異常ではありません。検診でおこなわれるマンモグラフィで高濃度乳腺の場合、全体的に白く見えてしまい、癌などの悪性腫瘍も白く写るので異常所見が紛れてしまい早期発見が難しくなってしまう場合があります。

そのような場合に発揮できるのが乳腺超音波検査です。超音波では乳腺は白く写りますが癌などの悪性腫瘍は黒く写ります。白い背景



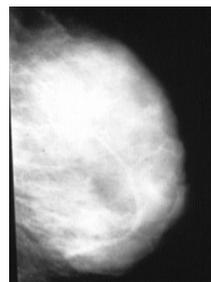
カラードップラーにて血流評価

の中から黒いものは発見しやすくなります。とはいえ、超音波検査のみ、マンモグラフィ検査のみでは腫瘍の発見が遅れてしまう場合もあります。

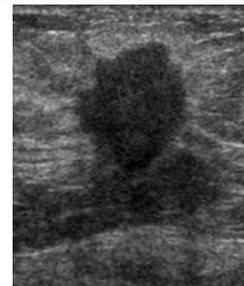
マンモグラフィは超音波検査で描出が難しい「石灰化」や「構築の乱れ」の発見に優れており特に石灰化は早期乳がんの発見につながります。乳腺超音波検査は高濃度乳腺の方やペースメーカー装着のためマンモグラフィがとれない方には腫瘍の発見に優れています。どちらの検査も必要な検査であり、併用することで検査精度の向上にもつながり見落としの可能性も減らすことができることから早期発見につながると思います。

**可能である限りオプション検査で乳腺超音波を追加する併用検診もおすすめします。**

不均一高濃度、高濃度乳腺ではエコーが優れています。

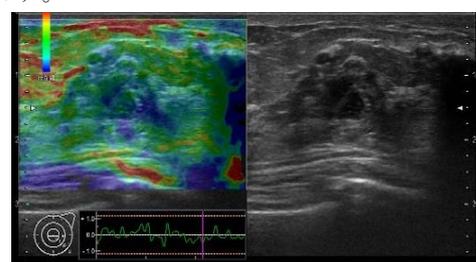


マンモグラフィ※1  
(高濃度乳腺)



乳腺超音波※2

真っ白なマンモグラフィ※1の画像の中に白く写る腫瘍が紛れています。このような方には乳腺超音波※2が優れています。



エラストグラフィにて腫瘍の硬さを評価



## やせる糖尿病の薬



旭ろうさい病院

糖尿病・内分泌内科主任部長 小川 浩平

2022年9月、日本糖尿病学会から「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」が発表されました。具体的には、病態（非肥満・肥満で分ける）に応じた薬剤選択、安全性への配慮、血糖降下に加えて好ましい効果のある併存疾患（慢性腎臓病・心不全・心血管疾患）、考慮すべき患者背景（服薬継続率・コスト）を検討事項としています。

肥満2型糖尿病にはビッグアナイド薬、SGLT2阻害薬、GLP-1受容体作動薬がお勧めとなっています。患者さんに糖尿病の薬を初めて処方する際には説明が要ります。ビッグアナイド薬は60年の歴史のある薬で低コスト、高用量であれば血糖降下作用は高いが消化器系副作用があり、腎不全など使用できないケースが多い、SGLT2阻害薬はある程度体重減少効果があるが頻尿や尿路感染症の副作用がある、GLP-1受容体作動薬は体重減少効果が高いが高コストであり消化器系副作用が多い。私たちはこれらの特徴について、患者さんに納得してもらってから処方します。

肥満2型糖尿病では体重減少による恩恵は血糖のみならず、血圧・脂質・肝機能など多岐にわたるので、新薬であるSGLT2阻害薬とGLP-1受容体作動薬が大変な人気となっています。この2剤には併存疾患に対するエ

ビデンスが多数出ており、SGLT2阻害薬は慢性腎臓病と心不全に対して保険適応が追加されています。

GLP-1受容体作動薬は2010年の発売からずっと注射剤しかありませんでした。ペプチドであるGLP-1受容体作動薬を内服薬にするのは技術的に困難でしたが、ノボノルディスク社はSNAC配合という新技術を用いて問題を克服しました。それがリベルサス錠で、2021年12月に長期処方解禁となってから多くの患者に処方されるようになっていきます。

GLP-1受容体作動薬は、インスリン分泌促進およびグルカゴン分泌抑制にて血糖コントロールし、胃排泄遅延（食べたものが胃から腸に進む時間がかかる）および食欲抑制にて体重減少が期待される薬剤です。副作用は消化器系が多く、胃の不快感、便秘、下痢などが起こることがあります。特に胃の不快感（ムカムカする感じ）がよく見られますが、この副作用が食事摂取を減らし体重減少につながります。

リベルサス錠の効きが悪い場合は、きちんと用法を守っていない可能性が高いです。特に消化器系副作用が全くない患者さんには注意が必要です。例えば夕食時間が遅いとか夜食を食べる様なら、朝はまだ胃に内容物が残っています。リベルサス錠はSNACを介

して胃から吸収される薬で、胃が空っぽでないと効果がありません。きちんと用法を守らないと意味のない薬ですので注意しましょう。

注射剤は患者さんにとって心理的なハ

ードルが高く、内服薬のリベルサス錠はやはり画期的だと思います。当院でも管理栄養士の指導と組み合わせて体重と血糖のコントロールが極めて改善するケースが出ています。よさそうだなと思われた患者さんは主治医に相談してみてもいいのではないでしょうか。



## 教えてドクターQ&A

### 【質問】

夏場に地下鉄などで脱毛に関する広告をよく見かけ、興味をもちました。脱毛とはどのようなものがあるのでしょうか。(40歳代 男性)

### 【回答】

脱毛には、医療機関で行う医療脱毛とエステティックサロンなどの医療機関以外で行う脱毛があります。医療脱毛は半永久的な脱毛を行う医療行為になります。

医療脱毛の方法は以前には絶縁針を用いた方法が多かったですが、最近では医療レーザー脱毛が主流です。医療レーザー脱毛は照射したレーザー光が毛のメラニンに吸収されて熱になり毛や毛根を壊して毛が生えなくする方法です。

使用するレーザー脱毛機器によって照射するレーザー光の種類や照射方法などが異なります。また、1回の脱毛処置で脱毛が完了するのではなく、間隔をあけて何回かの脱毛処置を行うことになります。

旭ろうさい病院  
皮膚科部長 榎原 代幸

## 院内コラム



### デジタルサイネージを利用した院内広報放映の運用について

会計課長 小尻 宏

当院では、近年、駅や空港、自治体庁舎等公共性の高いロケーションに多く利用されているデジタルサイネージを活用した広報システムを令和4年11月1日から、導入しました。

当院では、エントランスホールに設置して、受付時や診察終了後、お支払い等の待ち時間となる時間に、当院の案内・広報や関連病院の紹介、天気予報・ニュースをローテーションで放映し、各種情報を皆さんに提供するシステムとなっています。

ディスプレイは3台設置しており、①横置き43インチディスプレイにて、病院広報、ニュース・天気予報、協力医療機関等の情報を放映、②縦置き55インチディスプレイにて、①の情報と併せて、当院の連携医療

機関をタッチパネルで地域別、診療区別で検索できるようになっています。また、画面横に表示していますQRコードにてスマホ等にダウンロードしていただきますと、皆さんのお手元で連携医療機関の検索を行うことも可能となっております。最後に③縦置き55インチディスプレイにて連携医療機関一覧や病院の案内・行事等の情報放映を行っていきます。

当院を利用される皆さんに、受診方法、注意事項、病院の広報や地域医療連携の情報等分かりやすく提供することや、待ち時間を有効にお過ごしただければと思いますので、来院時には是非ご利用いただきますようご案内申し上げます。



## ～安藤先生の表彰について～

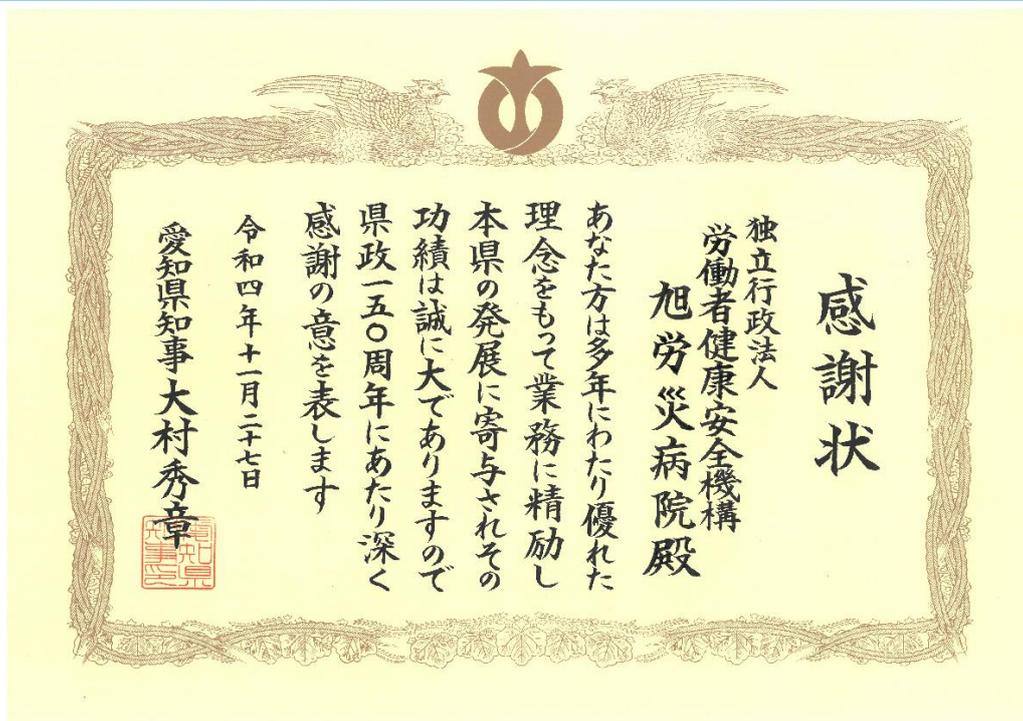
令和4年12月1日（木）、尾張旭市の市政功労者表彰において、安藤郁子小児科医師が永年にわたり教育・文化の復興に貢献したことが認められ、表彰されましたので謹んでお知らせいたします。

安藤小児科医師は、平成7年に旭労災病院の小児科部長として着任、平成30年に副院長に就任され、令和2年に定年を迎えられました。定年後も引き続き当院で発達支援センター長として勤務（非常勤）され、現在に至っています。

これまでの当院での診療を通じ後進の育成に尽力されるとともに、尾張旭市の教育支援委員会の委員を継続して10年間務められ、尾張旭市教育委員会の諮問に応じて、尾張旭市の児童・生徒の適正な就学・教育支援に関する審議を行い、答申をおこなってきました。

## ～当院が愛知県から表彰されました～

愛知県が県政150周年を迎え、永年にわたり県行政の推進や発展などに功績・功労のある団体として、旭ろうさい病院が表彰されました。引き続き、地域医療を基盤に勤労者医療を進め、地域の方々や勤労者の皆様に信頼していただける医療を提供できる病院を目指して参ります。



【編集後記】

2023 年を迎えました。新型コロナで忘れかけていましたが、2025 年問題まであと 2 年となりました。超高齢社会に世界で最初に突入している日本ですが、年金・医療・介護などの社会保障関連予算は増大する一方であり、その財源確保が難しくなっております。予防できる病気やケガには見舞われないように、日ごろから健康管理に努めることが重要です。本年も皆様方がお元気で過ごされることをお祈り申し上げます。

広報委員長 小川 浩平

